

## 116 回理事会議事録

2014 年 7 月 18 日 (金) 15:00～17:30

東京農業大学世田谷キャンパス 7 号館 1 階

生産環境工学科 バイオロボティクス研究室内木工室

出席：小島紀徳 (会長), 吉川 賢, 渡邊文雄 (以上, 副会長), 川端良子, 酒井裕司, 白石雅美, 鈴木伸治, 田島 淳, 豊田裕道, 森尾貴広, 矢沢勇樹, 吉崎真司 (以上, 理事), 中村 徹 (監事)

委任状：田中 徹 (理事)

欠席：高橋新平 (監事)

オブザーバー：安部征雄, 的場泰信

### I. 審議事項

#### 1. 第 114・115 回理事会議事録確認

- ・ 議事録が確認され, 承認された。
- ・ 次回以降の理事会議事録は, できる限りメールにて審議し, 早めに HP に UP することとした。

#### 2. 平成 26 年度第 25 回 (2014) 学術大会 (東京都市大学)・総会報告

- ・ 吉崎理事 (大会実行委員長) より報告がなされた。事前登録が少なかったため, 経費を抑えることに苦心したが, 当日参加が多かったので預託金からの出費が少なくて済む結果となった。
- ・ 名誉会員の参加費について問い合わせがあったが, 正会員と同じ扱いであるとの確認がなされた。事前登録/当日参加の扱いも同等である。

#### 3. ICAL-2 (ウズベキスタン) について

- ・ 川端理事より, 旅程や宿泊費についての説明がなされた。
- ・ 「沙漠研究」での発表論文の編集・印刷費を確保するため, 日本側参加者の登録・参加費支払いをまとめる必要がある。
- ・ 同一の発表者が複数の発表をする場合, 発表者は発表数分の参加費を支払う。
- ・ 発表会場での議論を有効・有意義にするため, 発表会場を 1 つとし, 口頭発表/ポスター発表の数を調節するよう働きかけることを確認した。

#### 4. 平成 26 年秋季シンポジウムについて

- ・ 開催日を 11 月 15 日 (土) 午後とし, テーマを「沙漠研究の国際動向と今後の課題」とすることを確認した (会場は東京農工大学小金井キャンパス)。4 名程度の演者を予定。東京農工大学科学博物館の見学も勧める予定。

#### 5. 平成 27 年度第 26 回 (2015) 学術大会 (秋田) について

- ・ 会場選定の協議中であるため, 5 月 30～31 日と 5 月 23～24 日の 2 案で検討中。

〔おあしす〕や学会 HP には 2 案とも掲載することとする。

- ・ 口頭発表の時間を十分に取って議論の時間を確保すること、エクスカージョンは可能な範囲で検討するが必須ではないことを確認した。
- ・ 吉崎理事から縄田会員・石川会員（実行委員会）へ平成 26 年度学術大会の情報が提供された。また要旨集の印刷会社や印刷費について情報を提供することとした。

#### 6. 平成 27 年秋季シンポジウムについて

- ・ 開催地の候補が挙げられた。可能性の高いところから打診する。

#### 7. 平成 28 年度第 27 回（2016）学術大会（鳥取）

- ・ 開催地決定の経緯について小島会長から説明がなされ、了承された。

#### 8. その他

##### ○ J-Stage での公開について

- ・ J-Stage の利用申請や、公開準備などについて森尾理事、酒井理事から説明がなされた。「沙漠研究」25 巻 1 号からの掲載を目指している。過去の論文も挙げられるが、作業は学会が行うことになる。
- ・ 学会会計への収入の内容が変化することについて、今後検討を続けていくこととした。

##### ○ 会員年度について

- ・ 会員年度が 6 月 1 日から 1 年間であること（内規）、会計年度は 4 月 1 日より翌年 3 月 31 日までであること（細則）を確認した。
- ・ 会費の請求時期の早期化について検討することとした。

##### ○ 会員への情報提供手段について

- ・ 〔あおしす〕や学会 HP では学会に関する情報を掲載しているが、会員に対する有益な情報がより迅速かつ広範囲に届くように、E メールで会員に配信することが提案された。メーリングリスト等の連絡手段について検討することとした。

##### ○ 次回理事会について

- ・ 10 月 17 日（金）に行うこととした。

## II. 報告事項

### 1. 会員動向（総務報告）

- ・ 入会者、退会者について、年度を分けて掲載することとした。

### 2. 各委員会報告

- ・ 編集委員会：編集作業・査読取次の状況について。〔おあしす〕でコラム記事を連載する。その際、〔おあしす〕への投稿者は会員であることが望ましいことが確認された。

### 3. 各分科会報告

- ・ 乾燥地農学分科会：11月4日（火）に，分科会の講演会を行うことを企画しているテーマは「沙漠化防止の新技术」。

#### 4. 関連学協会関連報告

- ・ 日本農学会への参加について検討することとした。

#### 5. 名誉会員就任に伴う役員の変更等について

- ・ 標記の事項にともない，最終決定した役員名簿が報告・確認された。

#### 6. その他

- ・ [おあしす] 24(1)表紙案が報告・確認された。
- ・ 吉川理事より，本学会の後援による公開シンポジウム「乾燥地における樹木・森林の生理と生態（2014年12月13日，岡山大学）」について案内があった。

以上